

経営体の概要

- ・所在地: 宮崎県西都市
- ・経営体名: (株) ジェイエフズみやざき
- ・栽培作物、作付面積: ほうれんそう、こまつな、約94ha
- ・契約農家: 62戸、259圃場(平成29年現在)

導入技術

- ・栽培管理のマニュアル化 自社製
- ・工程管理のシステム化 自社製

導入経緯

- 加工・業務用野菜産地の育成と冷凍野菜生産拡大に向けて、平成23年に冷凍野菜工場を稼働。
- 効率的かつ高品質な冷凍野菜・カット野菜の製造および販売を目指すため、冷凍野菜・カット野菜のインテグレーションモデル(生産、加工、販売まで一貫した工程管理)構築の実現に取り組む。

取組の特徴・効果

○ほうれんそうとこまつなを対象とした栽培管理マニュアルを作成。契約農家はマニュアルの栽培指示に従って作業が可能となり、生産に専念することができる。

○契約農家のほ場位置や面積等は、生産管理システムによる一括管理を実施。これにより、複数箇所にある圃場毎に適切な作業指示を行うことができる。

○栽培期間中フィールドコーディネーター※定期巡回を行い、現場指導を実施。その結果、収量の多いほ場数が増加。また、フィールドコーディネーターが生育状況をシステムに入力することで、収穫時期、収穫量の予測が可能となり、後工程の収穫、加工、出荷の調整に繋げることを実現。

※フィールドコーディネーター: 契約農家ほ場を巡回し栽培状況を把握・管理するスタッフ

○工場の稼働状況と生育状況を考慮し自社で収穫を実施することで冷凍工場への原料の安定調達を実現。

